

図書室だより

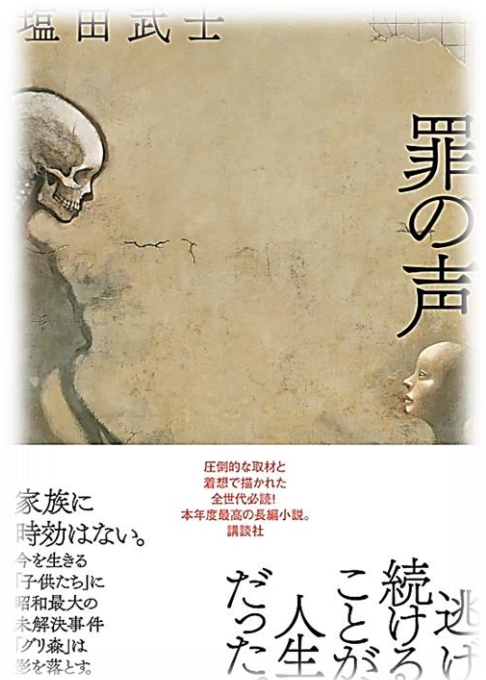
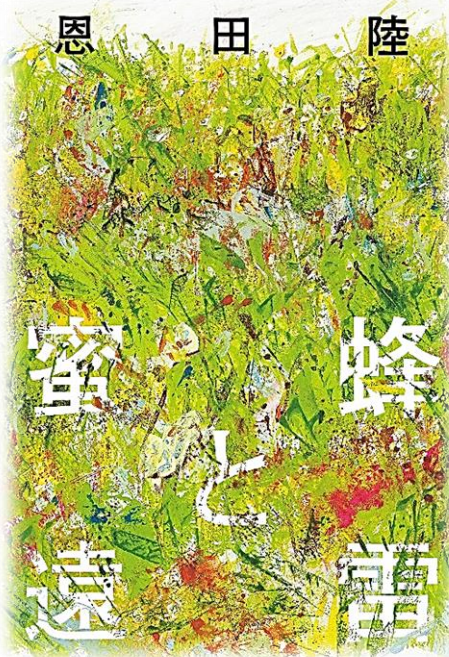
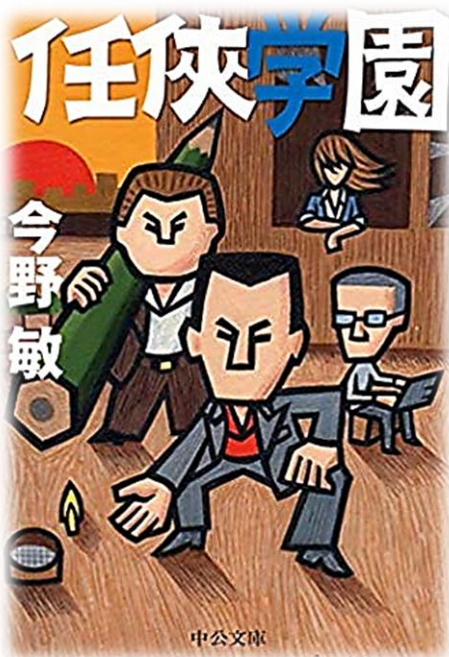
第1号

さあ、読書の秋の始まりだ！！

過ごしやすい季節がやってきました。〇〇の秋といいますが、読書の秋です。今、図書室には、新しい本がたくさんあります。映画の原作になった本や先生方のオススメの本や本屋大賞を受賞した話題の本など、ぜひ、一度、図書室に来室してください。

そこで、今回は、今、図書室にある本で、この秋オススメの本を紹介します！！ぜひ、気になる本があったらすぐに図書室に来て、実際に本のページをめくってみてください。もしかすると、借りられているかも知れないので、そのときは、あきらめずに何度も図書室に足を運ぼう！！

まずは、映画の原作本特集！！



『任侠学園』
今野敏著・中央公論社

言わずと知れた、本校が舞台として使われた映画の原作本！！映画とは違った原作の面白さがここにある！！胸に突き刺さる言葉がそこにある。ぜひ、手にとってみて！

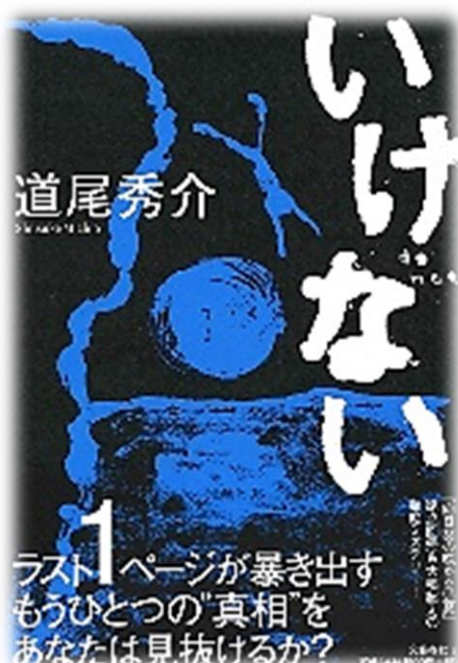
『蜜蜂と遠雷』
恩田陸著・幻冬舎

小説なのにピアノの音が聞こえてくる。もちろん、そんなはずはないのだが、ピアノコンクールを目指すそれぞれの人物の弾く音が聞こえてくる一冊。読んでから映画館へGo。

『罪の声』
塩田武士著・講談社

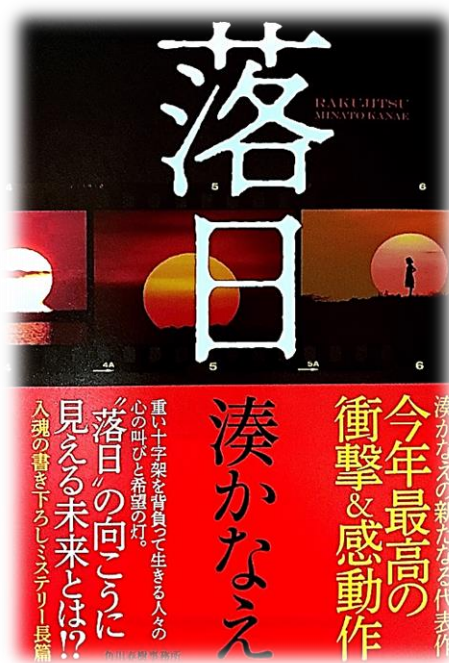
小栗旬と星野源のW主演で映画化。もしも、自分が世間を騒がせた大事件の犯人かも知れなかったら……。2020年の映画の公開前にぜひ、この長編を読んでみよう！！

秋の夜長にミステリーを！！



『いけない』
道尾秀介著・文藝春秋社

本にできることは何か？ラスト1ページで新たな事実を伝える。道尾文学の真骨頂がここにある。ラスト1ページを見て、あなたは、新たな驚きを感じることができるか？！



『落日』
湊かなえ著・角川春樹事務所

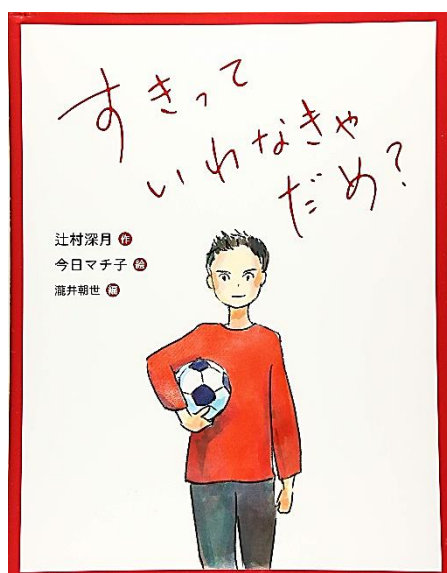
イヤミス（読後の後味が悪い小説）の女王湊かなえの最新刊！繰り広げられる人間の過去と現在。最後まで読み進めると、そこには意外な結末がある。今年最高の衝撃を！！



『かがみの孤城』
辻村深月著・ポプラ社

ファンタジックミステリー。そんな名前のつくミステリー。中学校に行くことのできなくなった主人公・こころと出逢った鏡の世界の仲間との成長の物語をぜひ！！

絵本の世界にも深いものがある！！



『すきって いけなきゃだめ?』 辻村深月著 今日マチ子絵

絵本なんてえ。小さい子どもが読むものでしょ！そんな考えは、古い。絵本の世界だからこそ伝わる深い内容がそこにはあるのだ！！絵と文章だからこそ「伝わる」「感じる」ことのできる世界がこの1冊に凝縮されている。

『かがみの孤城』で紹介した辻村さんの初めての絵本。ミステリー作家辻村さんならではの叙述トリックが使われている。文字と絵だからこそ描けるトリックがそこにある。ぜひ、絵本を手にとって、そのトリックに衝撃を受けて見ては？！